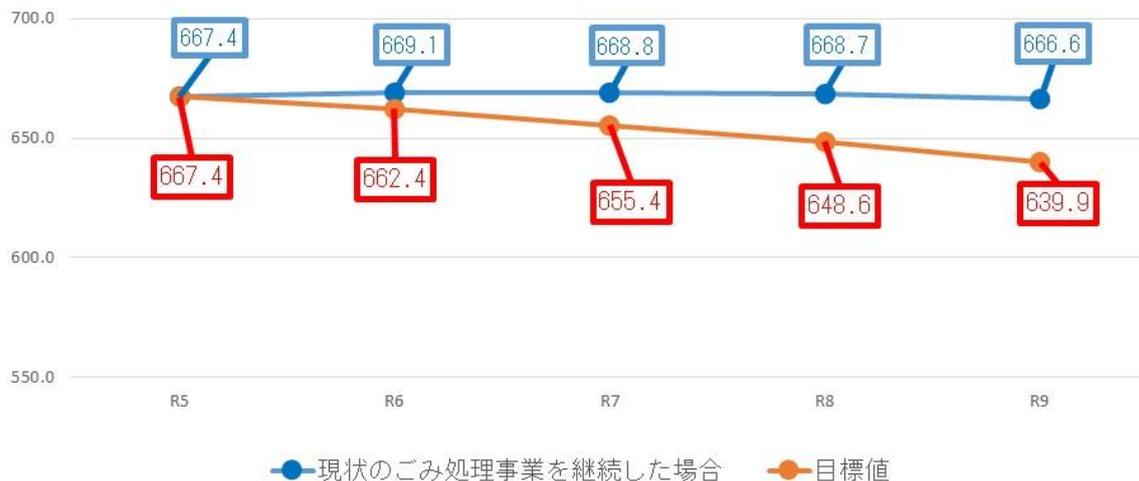


資料 4 現状のごみ処理事業を継続した場合との目標指標の比較

第 5 章で示した現状のごみ処理事業を継続した場合のごみ・資源排出量より、目標指標 1～3 を算定し、第 7 章における目標指標と比較します。令和 9 年度で比較すると、排出物原単位は、 $666.6 \text{ g}/\text{人日}$ から $639.9 \text{ g}/\text{人日}$ へと $26.7 \text{ g}/\text{人日}$ 減少、収集ごみ量原単位は $417.5 \text{ g}/\text{人日}$ から $393.9 \text{ g}/\text{人日}$ へと $23.6 \text{ g}/\text{人日}$ 減少、リサイクル率(資源化率)(エコセメントを含む)は、 34.2% から 35.4% へと 1.2 ポイントの増加となります。

1 目標指標 1 排出物原単位

単位：g/人日



2 目標指標 2 収集ごみ量原単位

単位：g/人日



3 目標指標3 リサイクル率(資源化率)(エコセメントを含む)

単位：%



武蔵村山市一般廃棄物処理基本計画
(令和5年度～令和9年度)

| | |
|------|----------------------|
| 発行年月 | 令和7年 月 |
| 発行 | 武蔵村山市 |
| 編集 | 武蔵村山市環境部ごみ対策課 |
| | 〒208-8501 |
| | 武蔵村山市本町一丁目1番地の1 |
| | TEL 042(565)1111(代表) |



武蔵村山市



古紙パルプ配合率80%再生紙を使用

この冊子(表紙・裏表紙を除く)は、環境に配慮して再生紙を使用しています。